

わたぼうし新聞 第17号

発行者 わたぼうし連絡会

発行日 1989年(平成元年) 11月20日

第17号の特集 「私の趣味 II」

黒い土に根を張り  
どぶ水を吸って  
なぜきれいに咲けるのだろう  
私は  
おおぜいの人のお愛の中にいて  
なぜみにくいことばかり  
考えるのだろう

星野 富弘

この新聞は障害のある人、ない人が自由に考え等を出し合い、主義、主張を越えて、お互いを理解し合う中から共に生きる豊かな社会を作っていくことを目的として発行しています。

わが国の今日までのボランティア活動は町づくり、地域づくりに主眼がおかれて、対人福祉サービスを主体とする在宅福祉サービスの活動は浅い。

地域づくりの活動は、自らの住む町は住みよく豊にするという自己の生活の延長線上にあり、活動への導入は自然に行われる。かつ自らの欲するときに、欲する内容を欲するままにできるという特色もあり、責任も軽かった。だが、対人福祉は他人の求めに応ずるといのが基本であり、ある種の抵抗感を伴うため行いにくい。

そして、対象者をとりまく家族および行政機関などの多くの人たちとの協調の活動となるため、主体性を忘れ、受動的活動に陥りやすい傾向がある。

今日の急速な高齢化社会の進行にともなって、高齢化世帯および、ひとり暮らし世帯も増えている。そのための施設づくりも積極的に行われているが、もとよりそれで解決がつかないからやっかいである。

大部分の老人を含めた人たちは、住み慣れた家と地域の生活を続けられることを望んでいる。このような人たちの在宅福祉が進められることは決して古いことではないが、昭和40年代で寝たきり老人やひとり暮らし老人の問題が社会的に取り上げられ、入浴サービス・給食サービスが広がりはじめて、本格的に広がっていった。が、歴史の浅さは大きな格差を残し、かつ施策は量的・質的にもまだまだ不十分であるのが現状である。

高齢化社会の到来は誰もがいずれ年をとることを考えると、避けられない身近で急なかつ切実な問題である。今後は在宅福祉について、もっともっと積極的なアプローチがボランティアにも必要なきときとなってきているのではないのでしょうか。

## わが国での「対人福祉サービス」の特徴

- ①「対人福祉サービス」PersonalWelfareServices「対人」と訳された「パーソナル」の意味については、金銭・物品・労力などを単に提供するだけでなく、それらが個々の利用者のおかれた状況・環境の中でどのような結果をもたらすかということをも判断して提供するということが不足しているということ。
- ②「児童」「老人」「身体障害者」「母子」「精神薄弱者」「精神障害者」など、「対象者」別に発達してきた福祉サービスが、共通する方法や技術、あるいは組織体制を作りだしているとはいえないこと。
- ③どちらかというところ、サービスの方法や技術面での統合性よりも、サービスの形態が重視され、金銭面での援助にたいして、非金銭的（非貨幣的）なサービスが強調されていること
- ④従来の施設福祉中心のあり方にたいして、在宅福祉・地域福祉を重視する方向に施策の転換が行われた点はイギリスと共通しているが、そのための資源が在宅・地域に十分ふりむけられているとはいえないこと。
- ⑤イギリスに比べて、福祉サービスに対する国の関与がかなり大きいこと。

参考文献・「障害者と在宅福祉」(全国社会福祉協議会編)

「NHK社会福祉セミナー」テキスト

## 特集《私の趣味Ⅱ》

このコーナーは一つのテーマについて、さまざまな人たちに意見を述べてもらうコーナーです。

### アマチュア無線に出会って

### 在宅障害者

私の健康なときの趣味は、このときの年代の流れによって変わっていったと思います。

たとえば、10代は将棋・野球・相撲、20代は魚釣り・映画、30代はテレビドラマ・読書といった具合で、現在も読書をしています。とくに時代小説が好きです。なかでも池波正太郎・村上元三・柴田健太郎などの各先生の長編ものが好きです。

ところが健康なときとちがって車いす生活が長く続きますと、家にいる時間が必然的に長くなります。外部との交流も少なくなりますので、ときたま孤独に悩まされることもしばしばありました。

こうしたときに、あれは確か国際障害者年の年だったと思います。関西支部より「アマチュア無線をやってみたらどうですか」という話がありました。

幸いにも、当時は北陸電波監理局の試験場が金沢市にありましたので、都合よくさっそく試験を受けました。が、見事に落ちまして、2度目の挑戦でどうにか合格をしました。

最初は無線の内容が全然わからず、そのうちなんとなく無線用語もわかるようになってきますと、次から次へと新しい人たちと交信ができ、ときには時間を忘れて1日中話をしていることも何度もあります。

また、こうして交信をしていますと、各県の天気予報なり、いろいろな情報が入ってきますので、ある意味では社会勉強にもなります。

今では、北は北海道より南は九州・沖縄まで約1万5千人（局）の人たちと交信をしています。

昭和59年ごろ金沢市青年会館において、北陸三県の障害者アマチュア無線大会を開いたこともあります。このときは全国からも参加して下さいました。

アマチュア無線の特徴は、寝たきりでも自由気楽に、しかも、男女間を問わずにだれでも交信ができます。

また、県外へドライブに行った場合の道路案内や人命救助に役立つというたくさんのメリットがあります。毎日が楽しく、おもしろく、たくさんの人たちと交流・交信ができるので、自分自身の生活に「生きがいと向上」を図るということができるアマチュア無線を是非やってみませんか。

ちなみに、アマチュア無線のその歴史は古く、昭和2年にはじまり、一時は太平洋戦争によって中断されましたが、関係方面のご協力により、昭和27年に再度わが国の空にもどってきました。このことにより、ことしで35年という間、電波利用技術の進歩にともなって画像通信・衛星通信と発展をしてまいりました。

現在は、アマチュア無線局数は85万人に達しております。

## 私と編みもの

## 在宅障害者

私は1級1種の脳性小児マヒ者です。左手は全く利かず、右手も普通の人の半分しか利きません。それでも小さいときから、編み物の先生になることをあこがれていました。

石川整枝学園を卒業してからは、石川県身体障害者更生指導所（現在の石川県立身体障害者授産所）の編みもの科で訓練を受け、更に技術を身につけたくて、編みもの学校の本科と師範科を卒業しました。5年もかかって念願の教師免許状を取得しました。

これまでにになるには、並たいていの苦労ではありませんでした。途中で何度も投げ出そうと思いました。でも、私は、今ここでくじけてしまったら、今までの苦労は水の泡になると思って、歯を食いしばって頑張りました。その甲斐があって婦人生活の編みものコンクールや主婦と生活、ブラザー社のそれぞれのコンクールに入賞させていただきました。

編み物の教師として、人びとに教えたり、作品を編んで生活の糧を得られるようになりました。私は夢を見ているようでした。その夢は13年目でシャボン玉のようにはじけてしまいました。

それは無理が重なって、体をこわしてしまっただけからです。入院をして大きな手術もしました。ドクターストップがかかって、編みものに専念することができなくなりました。それでも、私は編みものをすてることができませんでした。

今は趣味として、身体に無理のかからぬ程度に手編みで、小物のマフラーや帽子などを作って楽しんでます。一昨年は平和町ができた40周年の趣味の展覧会があり、それに出品したら、入賞をして北国新聞社から盾をいただくことが出来ましたので、とても幸でした。趣味として、編みものを離さなくてよかったと思いました。

今も、ぼつぼつとその日、そのときの思い出を編みこみながら、クッションや帽子などを編んで楽しい日々をおくっています。

## 詩と出会う

## 障害者支援施設・利用者

よく皆さんから聞かれます。「あなたの趣味は何ですか？」と、そのたびに答えるのに困ってしまいます。車いすの生活がほとんどの僕には、趣味といえるものがあまりないのです。しかし、生きていくうえで何かをやらなければいけないと思っています。

ここで真っ先に思いついたことは、自分の気持ちを詩に託して残すことです。が、そう簡単に一つの詩ができるとは限りません。

最初のうちは、何をどう表現すればよいのかわからず大変にこまりました。一行の文を書くのに1ヶ月もかかったこともありました。今ではそういうこともなくなり、スムーズに書けます。

そのうちに、いろいろなところへ送り、少しでも多くの人に読んでもらえたらと思います。今、こうして詩やそのほかのものを書くことに喜びを感じています。

趣味をもつことが、どれだけ勇気と希望をもたらしてくれたでしょう。これからも続くことと思います。たとえ、困難な状況におかれてもやめることないでしょう。

暖冬とはいえ寒い冬も終わり、ようやく春を迎えたそんなころであった。いつものように夕方になり、放牧してある牛を集めるために野原に出ていった。牛を追っていると、遠くから「高校生ぐらいかな？」と思えるリュックをしょったとてもかわいらしい女の子が僕のいる方に歩いてきた。

そして、僕に「この野原のどこに、すみれは咲いていませんか。私、すみれを探しにきたんです」と言った。

僕は「すみれ？　そういえば、あそこに行けばたくさん咲いているかも知れないよ。僕も一緒に行って探してあげるよ」と答え、牛を野原に、また、置いたままにし、その子と二人ですみれを探しに行った。そこには、小さくてかわいらしいすみれがあたり一面に咲いていた。その子はもの静かにじっとすみれを見いていた。優しく澄んだ瞳がとても印象的な子だった。やがて、山の向こうに夕日が沈みはじめ、その子が帰らなければならぬときがきた。

「きょうは、ありがとうございます。今度、また、きてもいいですか」とその子がじっと僕を見つめながらいった。

「うん、いいよ。また、ぜひおいでよ」と僕は言い、大急ぎで走って行って、家の横の花壇に咲いているマーガレットの花を手に取りもどってきた。

そして「じゃ、約束のしるしに、このマーガレットの花を一輪君の髪に飾らせて!!」と言い、その子の髪にそっとさしてあげた。

「じゃ、さようなら」「さようなら」とその子は一人で帰っていった。僕はその子の姿が見えなくなるまで一人でじっと見つめていた。

以上のことは、僕がある日、野原のかたすみにそっと咲いていたすみれを一人見つめていたとき、ふと心に浮かんだ思い出でした。

一輪の花にも感動できるこんな女性に出会えればと思いつつ、きょうも牛飼いの仕事に取り組んでいます。仕事の合間に野に咲く花にしばし目をとめてしまうことが僕の趣味といえるでしょうか。

## 趣味について

## わたぼうし新聞・編集委員

趣味一楽しみというならば、だれでもが一つや二つもっているのではないのでしょうか。

老後の生きがいづくりとしての趣味、ストレス解消法としての趣味などなど、心豊かに日々を暮らしたい。それには趣味をもつことはよいことだと思います。

現在は施設の面でも、ものを作るための材料、周囲の理解もあるという面でも、すごく恵まれています。

自分に関していえば、同じ趣味を持つもの同志の出会いもあり、また、好むと好まざるとによらず、作品とか音とかに性格が出てしまうということで、自分自身をみてしまうこともある。

話が少しずれるかも知れませんが、この新聞にもたくさん寄せていただいている詩・短歌・エッセイなど、外出がままならない障害者にとって「自分を表現する」「自分を知ってもらう手段」として、よい方法ではないかと思います。

この新聞も発表の場、仲間集めの場として大いに活用していただけたらと思います。

ちなみに私の趣味を申し上げますと、音楽（琴）・手芸・読書・アマチュア無線です。もう一つありました。食べることで～す。色気より食い気なのです。

## CD・紹介コーナー

### アルファ波分析によるストレス解消の音楽

—知的生活のために— CBS・ソニー 定価：3,000円（税別）

人間の脳波にはベータ波とアルファ波が混在していると言われている。安らいでいて、リラックスして高い集中力が発揮できるのはアルファ波が優勢のときというわけだ。

そこで開発されたのが、アルファ波を多用したこのディスク。現代はストレス過多の時代だが、それを解放するため音楽はますます必要となるだろう。曲によって家族全員ができるようになっている。

#### 曲の内容

1. 朝のさわやかなめざまし
2. 子供の勉強前に（精神集中）
3. 愛の安らぎ
4. 仕事を始める前に（精神集中）
5. 快適なお食事のひとつに
6. 眠れない夜のために

### 「わたぼうし新聞」の投稿原稿が200点を越える!!

昭和59年10月より「わたぼうし新聞」を企画いたしまして、皆様にご投稿を頂いております。皆様からの原稿を頂いた日を記録していますが、お陰様を持ちまして、この10月で200点を突破いたしました。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

## ワンチャン・ニャンチャン大集合 ～ワンチャンの巻5～ 在宅障害者

・名前：ジョリー

ジョリーはマルチーズ犬のオスです。わが家にきてから8年目になりますが、家族のなかでは今でも引っ張りだこです。

姪たちが試験勉強になると“ジョリー”はナ付の役目をはたします。

2階からトイレに降りるとき、夜食を作るために台所へ行ったり、三人娘にお供をするので、ジョリーには眠る間がないくらい。

昼間は泥のように眠るジョリーの姿のほほえましさは、皆さんにも想像してもらえると嬉しいです。

### 編集局より

ワンチャン・ニャンチャンコーナーを企画して早いもので1年余りが過ぎました。5匹のワンチャンにそれぞれに特徴がありました。しかし、ニャンチャンがまだ一度も登場しませんので、広く募集をしています。

写真は印刷できませんので、似顔絵があれば大歓迎!!

## われら仲間たち

### 小松市身体障害者青年部

「小松市身体障害者青年部」の今年の人数は全部で38名です。そのうち役員として、会長・副会長・書記2名・事務局・総務部長・企画部長・副企画部長・会計・会計監査の10名で構成されています。

定例会として、毎月第一水曜日の午後7時より「小松市サン・アビリティーズ」で役員会を行っています。年間行事としては、6月にスポーツ交流会、7月にバス旅行、8月にボート大会、10月に一泊研修会、12月にクリスマスパーティなどを行っています。

6月のスポーツ交流会は、富山県と金沢市の身体障害者青年部の人たちも来て、卓球・風船バレーボール・輪投げなどをしました。7月のバス研修は大阪のエキスポランドに行ってきました。

このように小松市身体障害者青年部では年間を通して、さまざまな企画を計画しています。小松市に在住していて、興味のある方は是非参加をして下さい。

### グループ・サークル募集中!!

あなたの楽しいグループ・サークル活動を紹介して下さい。ただし、活動日と責任者を明記して下さい。

## ～もの知り博士登場～

### JR運賃割引制度について

読者の諸君こんにちは、今回も前回に続いて、交通機関割引制度について講義をする。今回はだれでも利用できるJR運賃について講義をする。

JRは身体障害者手帳の交付を受けている身体障害者について、介護者を一人を付けることのできる者を第一種、その他の者を第二種とし、その車線および連絡車線に次のような割引制度を講じているのだ。

#### ①第一種身体障害者が介護者と乗車する場合

普通乗車券・定期券・急行券（特急券を除く）については、身体障害者および介護者いずれも5割引である。

#### ②身体障害者が単独で乗車する場合は（第一種、第二種の別は問わない）

片道100kmを超える区間を乗車する普通乗車券に限り5割引である。

#### ③12才未満の第二種身体障害者が定期券を用いて介護者と乗車する場合。

介護者の定期券のみ5割引である。

以前は市町村役場が発行する鉄道割引証が必要だったが、現在では身体障害者手帳を駅員に見せるだけで割引が受けられる。

今回は飛行機について講義をする。諸君、これからの寒さに負けないでガンバレよ。バイバイ。

## 各地からの催し物だより

### 脊髄損傷者協会温泉療養に参加して 《9月》

9月2日～4日にかけて和倉温泉六翠苑で行われた、石川県脊髄損傷者協会の温泉療養に友人の紹介で参加しました。

私は脳性小児マヒですが、3年前からある友人の紹介で脊髄損傷者協会の名簿づくりや行事の案内書の作成のお手伝いをさせていただいております。しかし、『百聞は一見にしかず』という諺にあるように一度どんな人がいらっしゃるのかと思い参加させていただきました。私がいつも付き合っている仲間たちとは異なる考え方、障害には驚きを感じさせられました。私のような脳性小児マヒの人たちは障害者といっても、幼いときからなった人が多いと思います。が、脊髄・頸椎損傷という場合は交通・労災事故によって、途中で障害者となられた方が多く、それぞれ社会復帰をして頑張っている方々が多かったと思います。

しかし、脊髄・頸椎の障害があるので、尿の感覚がないために、時間をみてトイレに行く人・管で取っている人たちがいました。

また、社会復帰をなされても車椅子に同じ状態ですと、床ずれができてお尻の肉が腐っていきますので、時間をみてプッシュ・アップ（尻上げ）をなされているという苦労

話を聞きました。

催し物のダーツ大会に参加させていただきましたが、これを他のゲーム大会に使うことができないかと思いながら帰ってきました。

## 障害者雇用キャンペーン

9月は例年のとおり、障害者雇用月間でした。それにちなみ、香林坊大和前では、県立授産所のSさんやミス百万石らによる花の種とパンフレットを配布して街頭PR・県婦人生活会館では雇用促進大会で優良事業者・障害者に表彰などが行われました。

## 第3回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会 《10月》

10月15日（日）に小松サン・アビリティーズにおいて、第3回石川県リハビリテーション風船バレーボール大会が県内の施設・病院の18チームの参加で行われた。あるチームは、桃太郎・金太郎・浦島太郎という強い味方を応援団に引き連れて頑張っていた。それが夕方のNHKニュースで度アップで放映されていた。予選リーグにおいて、県立中央病院と青山彩光苑チームが勝ち残り決勝に進んだ。試合成績は下記のとおりである。

試合成績 優勝：青山彩光苑Bチーム  
2位：県立中央病院Aチーム  
3位：チェリーヤンキーズ

## 第25回全国身体障害者スポーツ大会に参加して

### 障害者支援施設・利用者

9月30日と10月1日に北海道札幌市で行われた第25回身体障害者スポーツ大会に参加ができてよかったです。

自分自身の障害の重さ・甘え・他の人の体験などを聞いて、自分はまだまだできていないし、これからはもう少し他人に頼らずに行こうと思いました。

今までは、人に甘えていないと思っていたけれど、その考えは間違っていたことがわかったのです。そのことだけでもわかってよかったと思います。

私の出場した競技はビーンバック投げといって、おじゃみのような四角いものを投げるのです。投げた距離が多い方がよいのです。私は5回15投げることができました。それに車いすの60メートル競走にも出場しましたが、30秒台を割れなかったことが心残りですが……。

天皇陛下と美智子様とお話のできたので、すごくうれしかったです。天皇陛下も美智子様もとても静かにやさしくお話をしてくださいました。テレビで見るよりも近くで見ることがきれいでした。

北海道の人たちも、とてもよくして下さったので北海道へ行けてよかったと思います。

## 次号のお知らせ

前号に掲載いたしました「走れひまわり号」は、無事に10月22・29日（日）に秋空のなかを走りました。参加者は秋の飛騨・高山の旅を楽しみました。詳しい報告は紙面の関係上次号にて掲載いたします。お楽しみに!!

## これからの催し物

### 第一回ひろびろ共同作業所ひろがれコンサート 《12月》

障害に負けないで働く仲間たちの心を伝える詩（うた）を聞いて下さい。

- ・主 催：第1回「ひろびろ」ひろがれコンサート実行委員会  
〒921 金沢市長坂1-40-20  
ひろびろ共同作業所内  
☎ (0762) 42-8861
- ・期 日：12月9日（土）「障害者の日」
- ・場 所：石川県婦人生活会館大ホール
- ・開 場：午後6時
- ・開 演：午後6時30分
- ・協力券：一般500円 小学生以下、60歳以上、障害者は300円
- ・内 容：全編オリジナルの10曲

### 新屋英子のひとり芝居

#### 章ちゃんの青空

- ・作、演出：新屋 英子
- ・主 催：障害者自立センターをつくろう会
- ・期 日：12月21日（木）
- ・開 場：午後6時、開演：午後7時
- ・場 所：石川県婦人生活会館大ホール
- ・内 容：障害児を与えながら母親が仲間とともに立ち上がる！

## わたぼうし広場

### 障害者の挑戦は死ぬまで 九谷の里・上絵指導員

小松市社会福祉事業団に勤務をして、もう4年目に突入しました。最初の3年間ほどは小松市サシン・アビリティーズという「障害者いこいの場」である教育文化体育施設に勤務していました。

私も脊髄損傷という障害にあって、今年で17年目を迎えてました。車いす生活がいやになったけれど、死ぬまで一生四輪のお世話になります。自分のできることに何でも挑戦してきたおかげで、現在も元気一杯で勤務をしています。

脊髄損傷になり手を使ってできる仕事と思い、いろいろな仕事に挑戦してきました。が、「昔取ったキネズカ」というか、ことし4月より役所の転勤で、またも絵を描くことになりました。以前3年間も絵を描いて商売をしていましたが、昔から「絵描きはママが食えない」という言葉をしりめに障害をもっている方と毎日、毎日、絵を描いております。

私が教えている人たちは、訓練校を卒業した人・片手の人・施設を出た人など多様です。その中で自分のキャリアを行かした道に進み、今後の夢を大きく持って自分のためだけでなく、障害をもつ人のためにも頑張る気持ちで精一杯です。

現在のように恵まれた社会はわれわれにとって、生活は十分すぎる程と感ずることがあります。私は17年前を振り返ると、社会に出て仕事をできる車いすは一握りもいなかったような気がします。

でも、恵まれている人とそうでない人の差はまだあります。が、逆に恵まれていない人の努力が少ないと思うことがしばしばあります。

社会に甘えないで自分で努力をして、その結果が無理な場合でも、また、何かに挑戦をし、死ぬまで挑戦、挑戦をして死を迎えてもよいと思います。何もやらずこの宇宙の空気をただで吸っている泥棒にならずに、生きている証を自分でもって欲しいと思います。

一人前のことをいっている私も、まだまだ社会に甘えている私です。が、この『わたぼうし新聞』の読者のなかでも、一人でも自立した人の話が耳に入ってくることを楽しみにしています。

## 逃げ道

### 匿名者

10年前にアメリカのスリーマイル、3年前にソ連のチェルノブイリ、次は日本の番だといわれている。

もし、日本に大事故が起きれば一体どこに逃げればよいのでしょうか。自分の命を一体だれが守ってくれるのでしょうか。だれが犯そうとしているのでしょうか。みんなで今こそ話し合ってみませんか。

## カブトガニの話

## なわ梨蔵

今年の夏は暑くて長かったけれど、9月に入ってから雨がよく降って、これからのひと雨ごとに涼しくなり、秋が深まっていくのかなあ。

先日、車を走らせながらラジオを聞いていると、カブトガニの話をしていました。九州の薩摩市というところは、日本でも数少ないカブトガニの生息地であるそうです。しかし、そこでも近年カブトガニの数が、めっきり減ってきたと言っていました。

理由は海の汚れや海岸・砂浜の埋め立てでカブトガニの産卵場所が少なくなったことなどによるそうです。

カブトガニに限らず、鳥・動物・昆虫・魚・それに森林。いいえ、地球そのものが今や破壊の危機に直面している。という事実は誰でも知っていることですよね。それも先進国といわれている人たちのエゴによって。

ところで、僕は現在、無職なのです。僕が再就職するにあたって考えていることは、生物の生命を脅かしたり、地球の環境を破壊したり、第三世界の人たちを困らせたりすることのない仕事に就きたいのです。が、先日読んだ雑誌のなかに僕と同じことを言っている人がいてとてもうれしくなりました。

他の人たちが生き物を苦しめて、自分たちだけが幸せなんておかしいですよ。絶対だと思うのであります。

## ～文芸～

### 川柳・車椅子

### 在宅障害者

- ・車椅子押して家族に出るつかれ
- ・他人の目にピエロに写る車椅子
- ・幾度か死を考えた車椅子
- ・車椅子主としての酒を酌む
- ・車椅子集う仲間に陰はなし
- ・車椅子拒む歩道橋出来上がり
- ・他人の目にのん気に映る車椅子
- ・それなりに車椅子にもある青春
- ・先輩と呼ばれててれる車椅子
- ・一票の重みを乗せて車椅子
- ・街角で善意を拾った車椅子
- ・歩道橋車椅子には虹の橋
- ・自殺記事理解できない車椅子
- ・明日へまだ希望捨てない車椅子

## Tさんが詩集を自費出版 !!

七尾市にある青山彩光苑に入所しているTさんが、詩集「あゆみ」を出版されました。Tさんは重度脳性麻痺の女性です。この彼女が文明の機器であるワープロさんと結婚をして、詩集「あゆみ」という子どもを産みました。

B5版の詩集には、彼女の「恋・失恋・別れ」「病院生活・退院後」「女心」の3部で44編の詩を構成をし、自分のワープロで打ち製本されたものです。

詩集を希望の方もいらっしゃると思いますが、新聞に大きく掲載されて、注文が殺到して残り部数がありません。彼女より「当新聞で詩を随時掲載させて下さい」というコメントがありました。

## 本の紹介

### 車椅子のつぶやきー108センチの視座

坂本 明子著      あすなろ社      定価：1,200円（税抜）

坂本明子さんは車いす生活者。デパートに買い物にいても、陳列ケースに並んだアクセサリーの特価品などはいつも見えない。立った人と話すときは、いつも仰向きになって疲れてしまう。路面から108センチの目線から見たさまざまな感想がユーモアを交えて淡々と綴られている。

著者は車いすのつぶやきとっているが、読む側に車いすからの糾弾と感じられる場面もある。向きあうものに対する優しさとは何なのか、多くの人に読んでもらいたい本である。

## 編集局より

### 日常生活用具の募集について

当新聞の内容を皆様の日常生活に役立つ紙面にして行きたいと思っております。

その一環として、あなたが自分の障害・体にあわせて、工夫・改善をして使っている日常生活用具を教えてください。

食事・衣服・入浴・排泄用具などあなたの知恵で改善して、使っているものを教えてください。できるだけ市販されていないものを800字以内にまとめ、図面などを添えて下されば大歓迎!!

## 編集後記

車で通勤のため、上着を着ないで毎日を過ごしていたのですが、久しぶりに外へ出たらまわりはみんな上着を着ている。そういえば寒い!! 季節感が1~2ヶ月いつも遅れているんです。(H.A)

当新聞の原稿をワープロに打ち込みをされていて、いつも苦勞しているのは漢字やことばの使い方です。

皆さんからいただいた原稿を読み、漢字やひらがなをどのように使えば良いのかと、いつも辞書や一般新聞などを読んで研究しています。しかし、発行ごとに新しい言葉を覚えることができますが、漢字や言葉の使い方に頭を悩ましているこの頃です。

これからはもっと勉強をして、皆様に良い紙面をお届けしたいと思っています。(Z.O)

## ただ今、私の「夢」 原稿募集中!!

18号のテーマは わたしの夢Ⅰ

19号のテーマは わたしの夢Ⅱ